

継続事業費 6 億円増額
補正予算案

否決

否決された補正予算案について
重ねての説明

7/31

臨時議会

■平成24年度一般会計補正予算(第3号)について
7月9日の入札不調により、3工種とも再入札をするため、今年度分は減額し、平成27年までの継続費は増額を願いたい。

4年間の継続事業費を約38億円から約44億円にする、約6億円の増額補正。
また起債は、交付金算入が多い「優良債」を優先的に借り入れ、町の実質返済額はなるべく抑える。

▼主な質疑
Q 47億円の内訳は

47億円の財源内容
国 県 支 出 金 14 億円
(当初予算+1億円)
地 方 債(起債) 19.9 億円
(当初予算+4億円)
基 金+一 般 財 源 13 億円
(基金12億円、一般1億円)
(当初予算+1億円)
※H.22~27 完成までの総額

Q 6億円の詳細が明らかではなく、積算結果とは思えない。
A 設計見直しの結果と、前回の見通しが甘かったため。

Q 今後の町民へのお知らせは。
A 状況を見ながら機会捉えて。

Q 雑誌掲載のような予定価格の公表はあったのか。
A 契約補償の為に、概ねの額を広い範囲で示した。

Q 設計に問題はなかったのか。雪対応を十分考慮したのか。
A 雪には少し甘さがあったが、県の最新単価を用いている。

Q 「41億円、予算の範囲で…」と言ってきたのにおかしい。
A 指名審査委員会の結果です。庁舎内の意見

○建築、機械設備、電気設備、それぞれの設計見直しで、約5000万円増額。近隣を参考にした減額の取り止めで、約4億1000万円増額。諸経費部分、除雪費、交通誘導員など全般の見直しで、約1億1000万円の増額。消費税分で約3000万円の増額。(計6億円)

○臨時会指摘の、地元建築士2名による検証作業が進行中。

として、「特定企業体↓ゼネコン」もあった。
Q 諸経費の調整とか、継続費6億円の追加理由が明確ではない。資料を示すべきだ。

Q 設計見直しと、歩切り分の戻りで5億円と少し、LED照明で約7000万円、あとは除雪や安全対策です。

Q 前回歩切りした分が5億円強とのことだが、設計の積算はいくらだったのか。

Q およそ39億円の積算と記憶。
A 町サイドの専門家の検証が必要と思う。特定企業体募集も平行してできるだろう。

Q 大切な事が必要がある。募集のためにもこの予算を…。

○起債は交付税措置が多く充てられるものから借りる。これにより、起債は約4億円増えるが、実質負担額は1億4000万円にとどまる。

▼主な質疑
Q 今の説明は、前回のものを文章化しただけか。
A 口頭をペーパー化した。

Q 交付税措置の恩恵は期待薄だが。
A 交付団体になれば、基準財

Q 町民への説明の姿勢が見えない。議会への説明も不十分。
A 設計書をプロに見てもらい、次のステップに進みたい。建築は……。機械設備は……。電気設備は……。

Q 仕様変更をペーパーで出せ。
A 後日出示します。

▼討 論
反対討論：岸野、佐藤、南雲
賛成討論：今村、半澤

▼採 決(11名)
『賛成5』少数で、否決

政需要額と基準財政収入額との差額は交付税として入る。

Q 5者程度ないと競争できない。企業体はできるのか。
A そうなるべく環境を整えている。

Q もともと継続費38億円では収まらない工事だったのか。
A 結果的に予定額を超えてしまった。

Q ゼネコンだけの一般競争入札は考慮しないのか。
A もう一度特定企業体を再募

8/6

議員全員協議会

●統合文教施設について

※財源見込み(内訳)資料
※工事増額分の資料は入札前につき、提示後回収

○7月25日・31日の説明とほぼ同じ。6億円増額補正予算の提案根拠の説明。